

管内水稻は 7 月 30 日～8 月 10 日頃出穂見込みです

- 幼穂形成期は、平年並～6 日遅れ、前年より 2～11 日遅れです。
- 出穂期は 7 月 30 日～8 月 10 日頃の見込みです。
- ほ場ごとの出穂見込みを確認し、病害防除と斑点米カメムシ類対策を適期に行いましょう。

1 幼穂形成期と出穂期の見込み

表 1 管内水稻の幼穂形成期と出穂期の見込み

調査 地点	品種名	幼穂形成期（月/日）			出穂期（月/日）		
		R 8	R 7	平年値	R 8（予想）	R 7	平年値
久慈市 大川目	白銀のひかり	7/8	-	-	7/31	-	-
	いわてっこ	7/9	7/7	7/9	8/1	7/27	8/1
洋野町 宿戸	白銀のひかり	7/14	7/6	-	8/6	7/25	-
	いわてっこ	7/15	7/7	7/9	8/7	7/28	8/1
洋野町 阿子木	白銀のひかり	7/12	7/1	-	8/4	7/23	-
	いわてっこ	7/11	7/5	7/7	8/3	7/24	7/29
	あきたこまち	7/16	7/6	7/10	8/5	7/25	7/31
野田村新山	白銀のひかり	7/7	7/4	-	7/30	7/24	-
野田村泉沢	いわてっこ	7/18	7/10	7/13	8/10	8/1	8/6

出穂期は、幼穂形成期と気温から算出した参考値です。

2 病害防除について

- ・ 出穂の遅いほ場で穂いもち予防粒剤等を使用する場合は、ほ場ごとの出穂見込みと薬剤ラベルを確認し、散布適期を逃さないようにしましょう。
- ・ 穂いもちの発生を確認した場合は、予防粒剤の使用有無にかかわらず、直ちに茎葉散布を行いましょう。
- ・ 紋枯病、稲こうじ病は、前年や現在の発生状況を確認して防除を判断しましょう。

3 斑点米カメムシ類の耕種的防除について

- ・ 斑点米カメムシ類の発生量は「多」の予報です（7 月 14 日付注意報）。
- ・ 出穂 10 日前以降の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込む恐れがあります。畦畔の草刈りが未実施の場合は、本田の斑点米カメムシ薬剤散布の後、1 週間以内に草刈りを行いましょう。

※ 出穂期以降の管理については、次号でお知らせします。

- ・ このような情報をタイムリーに入手することに役立つ、メール配信をしています。
- ・ 右の二次元コードからメール作成を開き、必要事項を記載の上、お申し込みください。



お問合せ先：JA新しいわて久慈営農経済センター（TEL：0194-52-1318）
久慈農業改良普及センター（TEL：0194-66-9683）
（E-mail：ce0026@pref.iwate.jp）